

## 「香港中文大学サマースクール（中国語）派遣参加報告書」

京都大学大学院人間・環境学研究科1年 福田真郷

私は、中華圏に旅行に行くことが多く、また、自身の研究のフィールドワーク先でも中国語を使うことができれば役に立つと思い、今年の4月から独学で中国語を勉強しはじめました。しかしながら、発音やスピーキング、勉強法などが全くわからず苦労しました。そこで本プログラムを知り、短期間で中国語を勉強できるよい機会だと思い応募しました。無事採用されたものの、私は博士課程の学生で年齢的に浮くのではないかと、中国語の科目を取ったことがないため周りがどれくらいの習熟度なのかなど、不安はありました。しかし、実際に参加するとそうした不安は解消されました。年齢や学習歴は些末な問題で、とにかく恥ずかしながら話し、わからない点は質問することでうまくやることができましたと思います。文法の学習に偏った独学をしていたため、文法クラスは少し簡単だと感じ、当初はひとつ上のクラスにすればよかったかな？ などと思っていましたが、自分の勘違いや見過ごしていた点などが明らかになり、一番下のクラスにしておいて正解だったと感じました。スピーキングのクラスでは、とにかく話すこと、作文し読むことを反復し、発話の基礎を学べたと思います。老师たちはとても親切で、授業もわかりやすく、しっかりと基礎を学べたと思います。また、図書館などの大学施設も充実しており、快適な生活ができました。授業については、もうすこし宿題を多く出してもらってもよかったとは思いますが、そのおかげで放課後には香港の各地をまわることができました。香港中文大学(CUHK)は、香港の新界エリアにあり、バスや電車で移動するとすぐに「圍村」や「丁屋」など、歴史的な景観を見に行けました。中国の深センにも大学駅から電車で簡単に行くことができます。滞在中は、短い旅行ではまず行かないような地域を中心に、いろいろなところを見てきました。

香港は今、「反送中」で大変な時期を迎えています。その空気を生で感じることも、ある意味でよい機会だったと思います。キャンパス内でもそうした張り紙やポスト・イットが各所に貼られており、また、この問題についてCUHKにいる友人や学生からも話を聞くことがあり、熱気と危機感を肌で感じました。デモなどで交通機関が止まることはありましたが、普通に生活する分にはそれほど危険ではありませんでした。

今回のサマースクールの参加を通じて、確実に中国語能力が向上したと感じます。HSKなどの資格にも挑戦し、今後も中国語の学習を続けたいと思います。そして、機会があれば中国語圏への長期留学もしてみたいです。